

まちを支える

～有害鳥獣駆除を通して地域貢献～

坂城町猟友会

【有害鳥獣駆除を通じ

地域社会への貢献】

かつて猟友会は狩猟を趣味として行い、肉や毛皮を得てきましたが、最近は趣味の活動に加え、有害鳥獣の駆除が求められてきています。町内でイノシシ、ニホンシカ、ハクビシンなどによる農作物被害やさらにカワウやサギ類による漁業への被害も深刻化しています。(農作物被害額は約530万円 令和2年度 商工農林課まとめ)

増えすぎた有害鳥獣を捕獲することは、農作物等被害の軽減だけでなく生活の安心安全につながることから、猟友会員のうち12名は一年を通じて鳥獣捕獲実施隊として町から任命され、有害鳥獣の駆除を行っています。

【狩猟の魅力】

狩猟とは野生鳥獣を銃や罠・網等を使って捕獲することを行います。決して鳥獣をやたらに捕獲するのではなく、狩猟の適正化及び鳥獣資源の確保に努めながら事故防止に万全を期し、野生鳥獣と人が共存できる環境作りを行っているものです。

厳しい大自然を体感し、時には彼らの強い生命力と身軽

さに驚かされ、知恵を働かせているいろいろな方法でその姿を追い求めていきます。

これは、まさに彼らと人との知恵比べであり、狩猟の魅力を感じるひと時です。

【猟友会では仲間を募集しています(現在会員登録者22名)】

狩猟に興味をお持ちの方、有害鳥獣駆除を通して地域貢献に参画したいとお考えの方はご連絡ください。

町では猟友会に入会し有害鳥獣捕獲に従事できる方を対象に、狩猟免許の取得に際して狩猟免許受験手数料及び講習会テキスト代を助成しています。詳しくは、町商工農林課までお問い合わせください。(会長 中村 修二)



【お問い合わせ先】
坂城町猟友会
会長 中村修二
☎ 0268-82-6263

坂城町猟友会事務局
坂城町役場
商工農林課農林整備係
☎ 0268-82-3111内線155

つれづれに

▼新型コロナウイルス感染症が流行り始めて、人との会話の身身、特に最後の言葉が変わったと感じています。

▼「コロナに気を付けて」

これまで約2年近く、感染が収まらない。「気を付けて」という言葉に優しさ、気遣いがあるのは良いことだと思う一方、どんなに気を付けていても感染してしまうことがあるのがこの感染症の怖さ。

▼10月18日現在、その流行はひとまず収まっているような状況です。ただ、今後もまだまだ油断できません。ワクチン同様、治療薬の開発もさらに進みつつあり、みなさんの期待も大きいと感じます。

▼「コロナに気を付けて」
その言葉を使わずに済む、そんな時が来る日が待ち遠しく思います。(山城 峻二)

発行責任者 議長 小宮山定彦
議会報編集委員会
委員長 大森 茂彦
副委員長 山城 峻一
委員 吉川まゆみ
中島 新一
柘津 明子